

### ① R4年度の取組

#### ■ 受動喫煙対策事業

事業所向け受動喫煙対策及び禁煙支援の取組の横展開及び若年者への普及啓発を行う。

#### (R4事業内容)

##### ○ 企業の受動喫煙防止対策及び禁煙支援の取組

卸売業、小売業といった対策に遅れがみられる業種に対して、優良事例等の配布を行うほか、企業の禁煙支援の事例やたばこの健康影響についても企業間で横展開することで、受動喫煙対策及び企業の禁煙支援の取組促進を図る。

##### ○ 若年者への普及啓発

禁煙・望まない受動喫煙の防止を目的として、小中高校生を対象に実施している禁煙ポスターコンクールを拡充し、禁煙作品コンクールとして標語部門など新設することで、より広く応募を募り、普及啓発の強化を図る。

### ② 課題

○改正健康増進法の全面施行により対策が必要になったが、職場等で望まない受動喫煙が生じている

○建設業、製造業、卸売・小売業などへ重点的に働きかけを行っているが、業種により差が見られる

○高校生の喫煙経験者は0.9%（R1）であるのに対し、20代～30代では男女ともに喫煙率が高くなっていることから、進学や就職等を機に喫煙を習慣化する層が一定割合存在しており、成人喫煙率低下への効果的な働きかけが必要

県・全国年代別喫煙者割合(R1)【男性】

【女性】

	総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上		総数	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上
県	27.4%	26.7%	35.4%	41.6%	28.0%	34.9%	11.6%	県	5.0%	2.6%	14.3%	5.9%	11.3%	2.1%	1.8%
全国	27.1%	25.5%	33.2%	36.5%	31.8%	31.1%	15.1%	全国	7.6%	7.6%	7.4%	10.3%	12.9%	8.6%	3.0%

### ③ R5年度の取組（案）

#### ■ 受動喫煙対策事業

若年層の喫煙習慣化防止の検討会を実施するとともに、受動喫煙防止に向けたキャンペーンや施設向け調査を行う。

##### ○ 若年者の喫煙習慣化防止

・新たにたばこを吸う人を減らし、喫煙習慣化の防止を図るため、教育機関や企業と連携しながら、今後必要な取組、効果的な情報発信等について検討を行う。また、検討結果を踏まえ、効果が見込まれるものについて、R6からの事業化を検討。

【検討会構成員（想定）】大学有識者、教育関係者、健康経営推進企業等

##### ○ 望まない受動喫煙防止のための対策

・受動喫煙防止の機運を醸成するため、がん啓発イベントとも連携しながら新たに受動喫煙防止のためのキャンペーンを行う。  
・今後の受動喫煙対策検討のために資するものとして、公共施設等及び第二種施設を対象とした調査を実施（3年に一度の調査）

### ④ 目指す姿等

○新たにたばこを吸い始める者の減少

○県民等がたばこの健康影響を理解し、受動喫煙対策の徹底による望まない受動喫煙の減少及び喫煙率の低下

⇒たばこを原因としたがん等による死亡者の減少及び健康寿命の延伸